

集中治療管理を必要とした血液悪性腫瘍症例の後方視的研究

1. 研究の対象

2018年1月1日～2025年5月31日の期間で、血液悪性腫瘍（白血病、リンパ腫等）の検査・治療中に当院の集中治療室に入室された18歳以上80歳未満の患者様です。

2. 研究目的・方法

血液悪性腫瘍は全身性の腫瘍であり、治療には強力な抗癌剤を複数使用するため、他の悪性腫瘍に比べると臓器合併症の出現頻度が高いことが知られています。検査・治療の過程で集中治療室に入室するケースもありますが、集中治療を要する患者様の致死率は高いのが現状です。どのような要素が死亡につながっているかを究明することは、今後の血液悪性腫瘍の死亡率低下や治療成績の向上につながる可能性があります。本研究では、対象患者様の病歴や検査結果を参照し、集中治療室での治療を受けられた血液悪性腫瘍患者様の致死率と、死亡に関与する背景疾患や合併症等について検討します。

研究実施期間：研究実施許可日～2026年3月31日

情報の利用及び提供開始予定日：2025年8月26日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、集中治療室に入室後に受けられた治療内容、血液検査や画像検査等の検査結果、合併症等の発生状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター 吉田健二（研究責任者）

〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1 救急・集中治療医学講座

電話 018-884-6185（月-金 9:00-17:00）

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀨 友則